# 社会教育デザイン新聞 「Sphere(スフィア)]

Seiichi Ito いとう せいいち●1979年

lown

sphere ●3[コラム1

東静

「アトリ」のオス1年目の目玉

今回紹介するのは、スズメ

より少し大きめの鳥です。寒さ

が厳しい時期に川原や雑木

林などでも観ることができます

ので、今年はチャンスかも知

れません。嘴(くちばし)の付け

根が黄色く、頭の黒い羽毛が

から福生市公民館職員として子どもを対象に自

画・実践してきた

然体験学習、大人を対象に自然観察会などを企

公民館の設置運営につ

戦後間もない1946(昭和21)年7月、当時の文部省から文部次官通牒として「公 民館の設置運営について」が各地方長官宛に発せられ、これにより戦後の公民館 制度が発足することになりました。

通牒本文の最初には、新日本建設のために「国民の教養を高めて、道徳 的知識的並に政治的の水準を引上げ、または町村自治体に民主主義の 実際的訓練を与えると共に科学思想を普及し平和産業を振興する基を 築くこと」の3点が明記されていました。

置づけていました。

syakai-design-sphere@live.j

具体的には、公民館を全国の町村に設置、文化・教養と指導 の中心施設、住民の交流、町村振興を目指す総合施設で町 村民が自主的に運営等としていました。

> また、同年9月に発刊された「公民館の建設」の著者寺 中作雄氏は、公民館を社会教育機関、社交娯楽機 関、町村自治振興機関、産業振興機関、青年養 成機関の機能をもつ、公民の家と位

## 摩の公民館が

てきた

もの

文部次官通牒以後、三多摩では現在 の立川市や小平市が対応を始めました。 現在の小平市では、小平公民館条例を 設置し取組を始めたのは1948 (昭和 23) 年でした。最初は農家の庭先や学校 の校庭などを利用した映画会などの他、 農協と協力して農産物の品評会、野球や 駅伝の他運動会など、館がなくとも活動で きる「青空公民館」と呼ばれる活動内容が

中心でした。 1960 年代から 1970 年代では、東京 を中心とする京浜工業地帯の発展や全 国総合開発計画の背景をもとに首都圏に 人口が集中しました。三多摩各自治体で は人口が爆発的に増加すると共に、当時 の公害問題が象徴するように、自らの生活

> 環境に関する関心の高まりと当事 者としての地域住民による相互 学習の必要性を感じた新たな 都市生活者が中心となって、

生活者の各 自治体に対 し生活基

盤と学習 盤と学習 環境整 備の強い 要 求が増加、 その で ました。

> まず、1960年代のはじめに社会教育の 研究者や教師や公民館職員が「三多摩 社会教育懇談会(三多摩社懇)」として 国立公民館を中心に活動し、新たに都市 生活者となった三多摩の住民が求める学 習の要件と学習施設像を、「公民館三階 建論(1964年)」として理論化しました。

公民館三階建論で提示された具体的

●『平成2年度 区市町村社会教育行政の現状 一社会教育行財政調査報告書―』 東京都教育庁生涯学習部 人口部分は、東京都統計年鑑 平成2年

な公民館像は、1階は住民がいつでも気 軽に利用できるたまり場をイメージし、2階 はグループ・サークルの集団的学習や 文化活動の場、3階は社会科学や自然科 学など系統的で体系的な学習内容をイ メージしたとされています。

次に、1970年代のはじめに東京都教 育庁職員、社会教育研究者及び三多摩 の公民館職員が中心になって、当時の都 市住民の学習要求を背景とした都市型 公民館構想として、「新しい公民館像をめ ざして (通称:三多摩テーゼ 1973年、 1974年)」が作成されました。

三多摩テーゼは、公民館を 1. 住民の 自由なたまり場、2. 住民の集団活動の拠 点、3. 住民にとっての私の大学、4. 住民 による文化創造のひろばの 4 つの役割を 提起しました。そして公民館運営の基本とし て、1. 自由と均等、2. 無料、3. 学習文化 機関としての独自性、4. 職員必置、5. 地 域配置、6. 豊かな施設整備、7. 住民参 加の七つの原則を明らかにしたものです。

三多摩テーゼは東京都教育庁から公 民館資料作成委員会による報告書として 発行されたこともあり、以降三多摩各自治 体のみならず全国の自治体の公民館設 置の理論的な枠組みとして大きな影響を 与えました。

### 1980 年代~90 年代に らかにな

公民館の 東京都教育庁社会教育部 (当時) が 作成した「区市町村社会教育行政の現 状」という資料によれば、区市町村の公民 館数は 1973 年 34ヶ所から 1987 年 84ヶ所に増加しています。そして、三多摩 各自治体では生活基盤整備の進展と共 に住民からの社会的サービスへの要求も

多様化し、特に学習や集会施設の設置

要求に応えるため、自治体によっては公民

館かコミュニティセンターのどちらかを選択

することになりました。そのような社会的背景 から公民館に関する研究が進み、課題も 指摘されるようになりました。

まず、1980年7月号の「地方自治通 信」にて、三鷹市職員の江口清三郎氏と 国分寺市職員の進藤文夫氏の間で、コミ ニュティセンターと公民館の違いを浮き彫り にした「江口・進藤往復書簡」があります。

江口氏から公民館の現状や課題につ いて 10 の質問をし、進藤氏が答えるという 形の往復書簡の中で明らかになったの は、公民館事業のあり方、地域の公共課 題を解決するための学習に市民参加の 仕組みの有無、公民館職員の専門性と 力量形成、そして当時急速に普及し始め た公民館は、地域の住民自治を形成する 本来の役割を果たすことができているのか ということ等でした。

行政職員が住民の要求に応えるよりよ い社会教育施設のあり方や社会教育事 業に真剣に意見交換をし、あるべき形を 見出そうとしました。

次に、1986年8月に発刊された「社会 教育の終焉」の著者法政大学教授松下 圭一氏は、今日では都市型社会が成熟 し農村地区も都市化し、すでに農村型社 会から都市型社会に変貌している現在で は、公民館が「教育」という枠組みからす べての行政課題を担うことは無理であり、 住民に対し教え育てるという社会教育行 政はなくても十分住民は自立していると、指 摘しました。

そして、今日、公民館ないし社会教育行 政にとって不可欠な認識は、1. 社会教育 行政ないし公民館がなくとも、市民文化活 動は自立して存在している。2. 市民文化 活動の多様化・行動化のもとでは、社会 教育行政による指導・援助はもはや不可 能であると指摘し、当時の社会教育関係 者の中でも大きな議論となりました。

さらに、1996年4月に発刊された「現代 社会教育の地平と生涯学習」の著者東 京学芸大学教授長浜功氏が、「学習権 の保障という問題にかかわって行政がこれ に責任を持つということは当然のことである が学習すべてを行政の負担と責任に期 待するというのは間違っている。いやもっと言 えば真の学習は行政という枠のもとではでき ないということである。」そして、「社会教育と いう不定形のよさ、それは行政や役人には 到底理解できないことだ」とした上で、社会 教育の活動は行政に期待するものではな いと指摘しました。

日本では、バブル経済崩壊の直前であ る1990年に、いわゆる「生涯学習振興整 備法」が施行されました。その後、行財政 改革の視点から職員の削減や公の施設 の民間委託などを背景に、公費で負担す る社会教育から、個々人の興味関心に基 づいて生涯を通して自己負担及び自己責 任で学習をという流れが強くなりました。ま た、多摩地域の各自治体でも女性セン ターなど多様な公的施設が設置され、社 会教育全体の中の公民館の位置づけが 相対的に変化してきました。

# 薄くなった今日、 求められる公民館像

絆を求めながらも人とつながりにくい社会 を前提として公民館の役割を考える時、一 つには地域の住民が参加する運動会や お祭りといった、伝統的な地域社会の行 事から地縁関係を再興する取組が考えら れます。また、地域の小中学校や他の公共 施設の機能を十分発揮できる情報共有と 相互利用関係を築くことで、多様な要求を 保障しようという取り組みも考えられます。そし て、新たな公共施設の設置においては、 子どもから高齢者までの健康領域をカ バーする保健師や、少年や青年の相談に 応じるカウンセラーなど、現代の複雑で多 様な学習要求をカバーできる職員集団を

なお、地域社会での人間関係が薄いと はいえ、当事者として課題の解決に真剣に 向き合う住民は必ずいると思います。そのよ うな住民の居場所であり、出番のある社 会・コミュニティづくりの場は、社会の変化 によっても必ず求められるものと思います。

構成する必要があると思います。

現代的な課題に対応できる新たな機能 と構造を併せ持つ施設が求められていま すが、それは公民館という施設であると考え ますが…。

# sphere 54 ●2 [データ『多摩地域における公民館数の変化』]

●『平成23年度 区市町村生涯学習・社会教育行政データブック』 東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課 平成24年2月発行 武蔵村山市 東大和市 東村山市 清瀬市 年代 1982 1990 2011 年代 1982 1990 2011 年代 1982 1990 : 2011 年代 1982 1990 2011 58,457 70,363 67,269 83,684 118,787 153,609 人口(人) 62,380 74,250 人口(人) 人口(人) 人口(人) 公民館数(館) 2 公民館数(館) 4(3) 5 公民館数(館) 2(1) 3 5 公民館数(館) 職員数(人) 職員数(人) 42 職員数(人) 14 40 職員数(人) 13 53 33 1(兼1) 小平市 羽村市 瑞穂町 東久留米市 1990: 2011 1982 1990 | 2011 .1982 1990 : 2011 年代 1982 1982 1990 2011 年代 年代 年代 43,502 107,240 人口(人) 56.835 人口(人) 24,620 33,305 人口(人) 149,494 187,124 人口(人) 116,035 公民館数(館) 0... 公民館数(館) 7(6) 公民館数(館) 0 公民館数(館) 9 11 - 1 40 職員数(人) 28 職員数(人) (兼3) 18 職員数(人) 21 80 職員数(人) 福生市 昭島市 小金井市 西東京市 1990 2011 年代 1982 1982 1990: 2011 1982 : 1990 : 2011 年代 1982 1990 2011 年代 年代 112.286 156.726\* 199.149 人口(人) 95.198 人口(人) 49.273 59.159 人口(人) 99.650 119.596 人口(人) 公民館数(館) - 1 公民館数(館) 3(2) -.3 公民館数(館) 3 5 公民館数(館) 6 職員数(人) 34 職員数(人) 9(兼1) 職員数(人) 45 職員数(人) 17\*\*\* 68 32 ★:[田無市 66,658]+[保谷市 90,068] ★★:[田無市 2]+[保谷市 2] ★★★: [田無市 10]+[保谷市 7] 奥多摩町 国立市 立川市 武蔵野市 1982 1990 : 2011 年代 1982 1990 2011 年代 1.982 1990 2011 年代 1990 2011 年代 1982 人口(人) 9.758 5,873 人口(人) 64.243 75,468 人口(人) 112,907 179.846 人口(人) 133.158 138.675 公民館数(館) 公民館数(館) 公民館数(館) 10(9) 公民館数(館) 職員数(人) 職員数(人) 25 職員数(人) 105 47 4 職員数(人) 10 30 職員1人当たりが担当 青梅市 国分寺市 する市民の数(2011年) 1982 1990 2011 年代 1982 1990: 2011 ● 1500人以下 人口(人) 101,349 139,183 人口(人) 89,557 119,948 1501~2000人 公民館数(館) 公民館数(館) 5 2001~2500人 職員数(人) 35 職員数(人) 17(兼2) 82 2501~3000人 3001人以上 三鷹市 日の出町 八王子市 府中市 年代 1982 19904 2011 年代 1982 1990 2011 年代 1982 1990 2011 年代 1982 1990 2011 14,714 人口(人) 186,159 人口(人) 16.847 人口(人) 392.865 581 670 人口(人) 195 413 255 686 160.795 公民館数(館) 公民館数(館) 2(1) 2 公民館数(館) 7(7) 11 公民館数(館) 2(1)\* 11 職員数(人) 12 職員数(人) 152 職員数(人) 10 238 職員数(人) 11 57 ★:社会教育会館 檜原村 日野市 稲城市 調布市 年代 1982 1990 2011 年代 1982 | 1990 ( 2011 年代 1982 1990 2011 年代 1982 1990 2011 人口(人) 4,336 2,473 人口(人) 146,876 180,796 人口(人) 48.423 85,707 人亡(人) 197.790 224.415 公民館数(館) 公民館数(館) 公民館数(館) 3 公民館数(館) 3(1) 3 5 職員数(人) 職員数(人) 3 66 職員数(人) 25 38 職員数(人) 12 120 多摩市 あきる野市 町田市 狛江市 2011 2011 1982 1990 1982 1990: 2011 1982 1990: 2011 1982 1990

精悍な顔つきを生み出してい ます。眼球の虹彩に 濁りが 残ってい たため、1年 目と判断し ました。

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 重立農工大学大学院農学研究院 降推研究室复付 社会教育デザイン研究会 tel: 042(367)5877 e-mail: syakai-design-Sphere@live.ip

sphere 54 contents

64,538\*

(兼7)\*\*

★:[秋川市 43,977]+[五日市町 20,561]★★:[五日市町 0]

81,071

- 1

43

人口(人)

公民館数(館)

職員数(人)

100,328

- 1

8(兼1)

人口(人)

公民館数(館)

職員数(人)

●1[論説 多摩の公民館今昔]申東静 ●2[データ 多摩地域における公民館数の変化] ●3[コラム1 鳥の目玉⑥]申東静 ●4[レポート 三多摩テーゼの「ふるさと」はいま…]朝岡幸彦 ●5 [コラム2 指定管理者制度と公民館] 岩松真紀 ●6 [コラム3 iHo-la!社会教育デザイナー] 高下由令 ●7 [湧水まっぷ The Map of SPRINGS around Tama Area]

人口(人)

公民館数(館)

職員数(人)

300,150

8

427,531

1

135

人口(人)

公民館数(館)

職員数(人)

69,425

4(3)

12

3

78,488

2

22

146,587

2

74